

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果

3年生を対象として、4月17日に実施した「全国学力・学習状況調査」の調査結果の概要がまとまりましたのでお知らせします。なお、本校ホームページ内、「学校のとりくみ」「学ぶ力の育成プログラム」に本校の「学ぶ力の育成プログラム」とともに掲載しています。

本校の概要		今回の調査における課題	改善の方向
中学校 国語	【領域】 □「知識及び技能」における「言葉の特徴や使い方に関する事項」、[思考力・判断力・表現力]における「書くこと」は、全国平均に比べ、正答率が下回る。 □「選択式」「短答式」の問題形式においては、共に全国平均をやや上回る一方で、「記述式」の問題形式においては下回る。 □全ての問題において、全国平均に比べ、無解答率が低いことから、問題を解こうとする意欲の高さが窺える。	●事象や行為を表す語彙について理解すること。 ●読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方などを確かめ文章を整えること。 ●自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書くこと。 ●「記述式」になると、どう書いて良いか分からず無解答となる、もしくは適切な表現による解答が難しいこと。	○語句の量を増すことと、語句についての理解を深めることを目指し、漢字や語句について繰り返し復習すること。 ○「書くこと」において、「考えの形成や記述」「推敲」といった学習過程を意識して授業を行うこと。具体的には以下のような言語活動が考えられる。 ・多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く活動。 ・情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動。

分類		区分	全国との比較
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	下回っている
		(2) 情報の扱い方に関する事項	—
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	—
	思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	ほぼ同程度であるが、やや上回る
		B 書くこと	下回っている
		C 読むこと	ほぼ同程度であるが、やや上回る
評価の観点		知識・技能	下回っている
		思考・判断・表現	ほぼ同程度であるが、やや下回る
		主体的に学習に取り組む態度	—
問題形式		選択式	ほぼ同程度であるが、やや上回る
		短答式	ほぼ同程度であるが、やや上回る
		記述式	下回っている

※「ほぼ同程度」は、全国平均と同じ、「やや上回る」「やや下回る」は全国平均の±3.0ポイントの範囲内

本校の概要		今回の調査における課題	改善の方向
中学校 数学	【領域】 ☐ 「数と式」 ・全国平均と、同程度である。 ☐ 「図形」 ・全国平均と比べ、ほぼ同程度である。 ☐ 「関数」 ・全国平均と比べ、ほぼ同程度である。 ☐ 「データの活用」 ・全国平均と比べ、ほぼ同程度である。	● 「数と式」 ・問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかを判断すること。 ● 「図形」 ・筋道を立てて考え、証明することができるかどうかの判断をし、それを実際に証明すること。 ● 「関数」 ・一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解すること。 ● 「資料の活用」 ・複数の集団のデータの分布から四分位範囲を比較し、正しい内容を読み取ること。	○ 「数と式」 ・前提を変えた場合について、成り立つ事柄を予想してその予想が成り立つかどうかを調べたり、既に解決された問題の過程や結果の前提と結論を関連付けて捉えたりする学習活動を充実させること。 ○ 「図形」 ・身の回りにある事象から、問題解決の方法を数学的に説明することができるような学習活動を設定すること。 ○ 「関数」 ・問題の中で理想化、単純化されているものを捉えながら、数学的に表現された結果を事象に即して解釈することができるような学習活動を充実させること。 ○ 「資料の活用」 ・日常生活や社会の事象を題材とした問題などについて、解決するために計画を立て、必要なデータを収集して分析し、データの分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断する学習活動を充実させること。

分類	区分	全国との比較
学習指導要領の領域	数と式	ほぼ同程度
	図形	ほぼ同程度
	関数	ほぼ同程度
	資料の活用	ほぼ同程度
評価の観点	知識・技能	やや上回っている
	思考・判断・表現	やや下回っている
問題形式	選択式	やや上回っている
	短答式	ほぼ同程度であるがやや上回っている
	記述式	やや下回っている

※「ほぼ同程度」は、全国平均と同じ、「やや上回る」「やや下回る」は全国平均の±3.0ポイントの範囲内

今回の調査における課題

改善の方向

中学校 理科

●観点の「思考・判断・表現」のなかでも、観察や実験の目的を理解していないこと。

●気象現象について、身近な存在として理解することができていないこと。

○身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を実験で解決するための課題解決方法を設定できるようになること。

○露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析できるようになること。

○気圧の知識を概念として身に付けること。

分類	区分	全国との比較
評価の観点	知識・技能	上回っているものが多い
	思考・判断・表現	一部下回っているが、ほぼ同程度である
問題形式	選択式	やや上回っている
	短答式	大きく上回っている
	記述式	一部下回っているが、ほぼ同程度である

※「ほぼ同程度」は、全国平均と同じ、「やや上回る」「やや下回る」は全国平均の±3.0ポイントの範囲内

生活や学習に関する調査について（生徒質問紙調査での全国との比較）

肯定的な回答の多い項目

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- 将来の夢や目標を持っていますか
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか
- あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますか
- あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか
- あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

全国平均と比べ時間の長い項目

- 1，2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか。

肯定的な回答の少ない項目

- ・学校に行くのは楽しいと思いますか
- ・学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（オンライン授業の場合も含む）
- ・新聞を読んでいますか
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- ・1，2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- ・1，2年生のときに受けた授業で、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
- ・あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- ・国語の勉強は好きですか
- ・数学の勉強は好きですか
- ・理科の勉強は得意ですか
- ・理科の勉強は好きですか
- ・理科の授業の内容はよく分かりますか
- ・理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか
- ・理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか
- ・理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか
- ・自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか

子どもの力を伸ばすために

*「清中生のABC」：「Aは温かい挨拶」、「Bは文武両道」、「Cはチャレンジ」

質問紙では、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に全国平均に比べ肯定的な意見が多かった一方、「学校に行くのは楽しいと思いますか」や「1，2年生のときに受けた授業で、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」の質問には全国平均に比べ肯定的な意見が少ない傾向がありました。学校生活や授業における十分な満足感や、目標に向けた学習の手立てに困り感を感じている生徒もいるようです。引き続き、互いに認め合い、学び合い、高め合えるような経験ができる学校生活の実現を目指すとともに、生徒の学習や生活面の悩みや不安に寄り添い、解決に向けて支援する指導を進めていきます。また、ICTを活用した学習や、総合的な学習の時間の発表に関わる肯定的な意見が多く、IT化社会に対応する基盤が身に付いてきているようです。

*清田中「学びのスタンダード」：「聴（き）く、読（よ）む、対話（た）する」

質問紙では、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の質問に肯定的な意見が多く、対話的な学びの中で深く考え、新しい発見をすることができている生徒が多いようです。一方で「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」の質問には肯定的な意見が少ない傾向があります。引き続き、対話や他者との関わり中での気付きや考えの深まりを重んじた「学びのスタンダード」を推し進めながら、生徒の自治活動へとつなげられるよう支援を続けていきます。

*さっぽろっ子「学び」のススメ

質問紙では、生活習慣や学習習慣に関して肯定的な回答が多くありました。引き続き、生活、学習への支援を御家庭でも御協力をお願いいたします。



札幌市教育委員会では、「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりを学校とご家庭が『まほうのかいわ』を合言葉に、5つのポイントでお子様の成長を支援する活動を推進しています。

ま：学んだことを一緒に振り返りましょう。

ほう：方法を一緒に考えましょう。

の：伸びを認め、ほめましょう。

かい：改善に向けて生活を一緒に振り返りましょう。

わ：わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう